

2020年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年9月11日

上場会社名 株式会社ハウテレビジョン 上場取引所 東
 コード番号 7064 URL <https://howtelevision.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 音成 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西塚 慎太郎 TEL 03(6427)2862
 四半期報告書提出予定日 2019年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第2四半期の業績 (2019年2月1日～2019年7月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	451	—	82	—	72	—	40	—
2019年1月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	35.54	34.24
2019年1月期第2四半期	—	—

(注) 1. 2019年1月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年1月期第2四半期の数値及び2020年1月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 当社は、2019年4月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2020年1月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	675	484	71.7
2019年1月期	307	145	47.5

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 484百万円 2019年1月期 145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年1月期	—	0.00	—	—	—
2020年1月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年1月期の業績予想（2019年2月1日～2020年1月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	824	25.3	100	38.8	92	32.8	59	14.3	49.46

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年1月期2Q	1,267,900株	2019年1月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2020年1月期2Q	－株	2019年1月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年1月期2Q	1,140,308株	2019年1月期2Q	－株

（注）当社は、第2四半期の業績開示を2020年1月期より行っているため、2019年1月期第2四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の事業領域である人材・就職支援業界においては、2019年6月の有効求人倍率が1.61倍（前年同月は1.61倍。厚生労働省調査）、完全失業率が2.3%（前年同月は2.4%。総務省統計局調査）を記録するなど、引き続き労働者・求職者にとって有利な水準で推移しております。また、株式会社リクルートキャリアの調査によれば、2020年卒の新卒学生の就職内定率は、過去最高であった前年同期を上回る70.3%（2019年6月1日時点）を記録しており、新卒学生にとっても空前の売り手市場の様相を呈しています。

当社は、このような事業環境の中で、当社の事業の核である「外資就活ドットコム」の機能拡充やサービスの向上に取り組み、「外資就活ドットコム」のさらなる機能の開発によりポジションを更に強固なものとするため、積極的な開発への投資を引き続き行っております。このような「外資就活ドットコム」の継続的な進化を通じ、学生、企業双方の信頼を得、その結果、当第2四半期会計期間末現在の「外資就活ドットコム」の学生の登録会員数は累計196,865人（前期末比27,906人増）、当第2四半期会計期間における送客数^{注1}は141,417人（前年同期比18,941人増）、月間平均DAU^{注2}数は4,040人（前年同期比1,549人増）となりました。

また、第2新卒市場を中心とした若手ハイクラス層をターゲットとしたリクルーティング・プラットフォーム「Liiga」については、企業向けにダイレクトリクルーティングサービス及び自社エージェントサービスを、人材エージェント向けにスカウトサービスを引き続き展開しております。「Liiga」の当第2四半期会計期間末における登録会員数は27,972人（前期末比3,026人増）、当第2四半期会計期間における月間平均MAU^{注3}数は2,723人（前年同期比117人減）、マッチング数は1,844人（前年同期比190人増）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は451,962千円、営業利益は82,147千円、経常利益は72,442千円、四半期純利益は40,525千円となっております。

なお、当社はキャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

注1 送客：当社のサイトから、クライアントの採用ページまたは募集の応募フォームに送客した数を示しております。

注2 DAU：Daily Active Userの略称であり、1日当たりの当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

注3 MAU：Monthly Active Userの略称であり、1カ月の間に一度でも当社サービスを利用したユーザーの数を示しております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は前事業年度末より363,903千円増加し、588,004千円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加352,019千円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は前事業年度末より4,244千円増加し、87,469千円となりました。主な増加要因は、投資その他の資産の増加2,955千円であります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は前事業年度末より29,444千円増加し、188,883千円となりました。主な増減要因は、前受金の増加61,394千円、短期借入金の減少50,000千円などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は前事業年度末より9千円増加し、1,971千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は前事業年度末より338,694千円増加し、484,618千円となりました。増加要因は、公募等による新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ149,084千円増加したこと並びに四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加40,525千円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ352,019千円増加し、532,691千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は122,787千円となりました。主な収入要因は税引前四半期純利益72,422千円、減価償却費12,705千円、前受金の増加額61,394千円であり、主な支出要因は、法人税等の支払額15,882千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動により使用した資金は15,136千円となりました。主な支出要因は、無形固定資産の取得による支出12,286千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動により得られた資金は244,368千円となりました。収入要因は株式の発行による収入294,368千円であり、支出要因は、短期借入金の純減額50,000千円であります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期の通期の業績予想につきましては、2019年4月24日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	180,671	532,691
売掛金	38,530	42,482
その他	4,898	12,830
流動資産合計	224,101	588,004
固定資産		
有形固定資産	9,236	9,212
無形固定資産	44,841	46,155
投資その他の資産	29,146	32,101
固定資産合計	83,224	87,469
資産合計	307,325	675,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,016	2,781
短期借入金	50,000	—
未払法人税等	11,350	31,936
前受金	47,228	108,622
その他	49,843	45,543
流動負債合計	159,439	188,883
固定負債		
資産除去債務	1,961	1,971
固定負債合計	1,961	1,971
負債合計	161,401	190,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	56,500	205,584
資本剰余金	52,500	201,584
利益剰余金	36,923	77,449
株主資本合計	145,923	484,618
純資産合計	145,923	484,618
負債純資産合計	307,325	675,474

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	451,962
売上原価	93,050
売上総利益	358,912
販売費及び一般管理費	276,765
営業利益	82,147
営業外収益	
受取利息	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	303
支払手数料	5,601
株式交付費	3,801
営業外費用合計	9,705
経常利益	72,442
税引前四半期純利益	72,442
法人税、住民税及び事業税	32,602
法人税等調整額	△685
法人税等合計	31,917
四半期純利益	40,525

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	72,442
減価償却費	12,705
受取利息	△0
支払利息	303
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,749
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,765
前受金の増減額 (△は減少)	61,394
その他	△3,936
小計	138,972
利息の受取額	0
利息の支払額	△303
法人税等の支払額	△15,882
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,579
無形固定資産の取得による支出	△12,286
敷金の差入による支出	△1,269
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
株式の発行による収入	294,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	244,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	352,019
現金及び現金同等物の期首残高	180,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	532,691

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月24日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。上場にあたり、2019年4月23日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行220,000株により、資本金が122,452千円、資本剰余金が122,452千円増加しております。

また、当社は、2019年5月22日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行により、普通株式が47,400株増加し、資本金が26,382千円、資本剰余金が26,382千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期会計期間末において資本金205,584千円、資本剰余金201,584千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、キャリアプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。